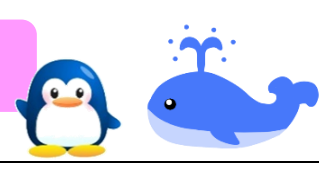

**事業所職員向け 放課後等サービス自己評価表**


	チェック項目	はい	どちらか もいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			壁の上にクッションマットを敷くことで転倒時安全性に配慮しています。また、指導室が2室あるため、障害特性によって部屋の配慮が可能です。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			児童2：1職員で配置しています。外出活動や活動内容により、それ以上の配置も行っていきます。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			一般住宅の為、バリアフリーではありませんが、児童の活動部分にはマットと敷いて段差解消等の安全配慮を行っています。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	○			毎日のミーティングの他に、職員会議やケース会議などを行い、質の向上に努めています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			自己評価の結果を全職員で共有し、前年度との比較をし、改善点などを話し合っています。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページおよび事業所玄関に掲示しています。
適切な支援の提供	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者委員会の設置はありませんが、今後は設置に向けての方で検討しています。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			各種研修会へは職員参加を心がけています。しかし送迎時間にかかるため参加できないこともあります。事業所内研修も実施しています。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を多角的に分析した上で、放課後等サービス計画を作成しているか	○			最低6ヶ月に一度はモニタリングを行っています。児童の状態によっては、送迎時に随時モニタリングを行うこともあります。
	⑩ 子どもの進捗行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			個々の児童の特性や状況を踏まえたアセスメントを作成を行い、職員間で共有しています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			おおまかな活動目標を定め、それに沿って職員間で話し合いながら活動プログラムを決めています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			児童の年齢や成長具合、季節、学校行事などを考慮して活動プログラムを決めています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			日や月のミーティングで、現状を共有しながら、個々の児童への関わり方を検討し支援にあたっています。
	⑭ 子どもに状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等サービス計画を作成しているか	○			障害特性を十分に理解し、個別と集団の必要性を考慮しながら作成しています。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日必ず時間を取ってミーティングを行い、当日の役割確認を行っています。
	⑯ 支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日の児童の状況を書きとめるワークシートを活用しています。支援の振り返りに役立て、気付いた点等をミーティングで共有しています。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録の取り方は随時指導を行いながら、正しい記録を取ることを徹底しています。また、専門用語ばかりではなく相手に伝わる言葉を使う指導も行っていきます。
関係機関や保護者との連携	⑱ 定期的モニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			最低6ヶ月に一度はモニタリングを行い、計画に基づいた支援が出来ているかを振り返り、必要時は計画の見直しを図るようにしています。
	⑲ ガイドラインの原則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			社内研修等を利用して、ガイドラインの読み合わせを行い、障害特性に応じた活動を意識して児童の支援を行っていきます。
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○			管理者や児童発達支援管理責任者が参加し、その後情報の共有を行っています。
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の連絡等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校によって、先生によって共有意識に差が大きいのが現状です。必要な情報の取得や提供に努めるよう心掛し、トラブルが起こらないよう事前の連絡調整に努めています。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			医療的ケアについては受け入れを行ってはいませんが、必要時には医療機関（主治医）との連携を密に、状況に応じては法人内の別事業所の看護士からの連携方法についての助言を受け支援にあたります。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			相談支援事業所へは就学前の保育所や幼稚園等の先生の担当者会議の出席をお願いするようにしています。児童の情報を取得し、情報共有を図るようにしています。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	これまで例はありませんが、積極的に情報提供を行い、スムーズに事業所移行ができるように配慮します。 ※移行支援を行っていないため、どちらともいえないにしています。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			専門機関が開催する研修には積極的に参加し、職員のスキルアップに努めています。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			児童クラブ等への交流を図るように声掛けをしていますが、お断りされています。公園活動では地域の児童と一緒に活動することがあります。
	㉗ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			自立支援協議会主催の研修に参加していますが、場所や時間の関係で参加できないこともあります。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時などで常時、保護者との情報共有を図っています。
㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			家族支援のアプローチをして、ペアレント・トレーニングの内容が含まれた研修等に参加し、業務に活用しています。	
保護者への説明責任等	㉚ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明しています。
	㉛ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			悩みや困りごとが相談された場合は、寄り添いながら傾聴や助言を行っています。必要に応じて、相談支援専門員と連携をとっています。
	㉜ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			事業所での保護者会は駐車場の関係で開催出来ていませんが、SNSを用いて保護者同士が繋がれるように配慮しています。
	㉝ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			定期的マニュアルを整備し、対応できるようにしています。状況聞き取り後、管理者や児童発達支援管理責任者が迅速に事の経緯を説明し、保護者様の不満や不安の解消に努めるようにしています。
	㉞ 定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的におたより通信やSNSにて活動報告をしています。行事予定は毎月、利用申込書と一緒にお渡ししています。
	㉟ 個人情報に十分注意しているか	○			書類関係は鍵のかかる棚で厳重に管理しています。また、デスクトップ上には個人情報を保存しない事を徹底しています。
	㊱ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々に合わせた伝達方法で情報提供に努めています。
	㊲ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			夏祭り等、営業日に合わせた地区行事に参加しています。
非常時等の対応	㊳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			策定したマニュアルは、玄関横に吊り下げており、誰でも手に取って確認することが出来ます。
	㊴ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練（年2回程度）を行っています。
	㊵ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			市や県主催の研修や法人主催の研修への参加はもちろん、毎日のミーティング等でも虐待防止の意識の向上に努めています。
	㊶ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等サービス計画に記載しているか	○			当事業所では身体的拘束は行わないよう努めています。また契約時、契約書および重要事項説明書にて説明を行っています。
	㊷ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			あらかじめご家族にサポートシートをお渡しし、アレルギーやアレルギーのあるお子様に関しては情報共有を行っています。必要な児童に対しては医師の指示書を念頭に置き、慎重に対応するように体制を整えています。
	㊸ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			全職員が積極的に取り組み、事例検討などを行っています。